



# 平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年1月31日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ハマキョウレックス  
コード番号 9037 URL <http://www.hamakyorex.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大須賀 秀徳

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役執行役員 管理本部長兼経営企画室長 (氏名) 山崎 裕康

TEL 053-444-0054

四半期報告書提出予定日 平成25年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	68,265	△0.5	5,379	0.7	5,470	2.0	2,832	1.7
24年3月期第3四半期	68,619	5.6	5,343	7.2	5,361	2.6	2,785	8.7

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 3,216百万円 (1.8%) 24年3月期第3四半期 3,159百万円 (6.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	339.14	—
24年3月期第3四半期	333.47	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	86,548	31,182	31.2
24年3月期	85,164	28,382	28.7

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 26,981百万円 24年3月期 24,474百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	19.00	—	19.00	38.00
25年3月期	—	20.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	91,000	1.2	6,900	5.7	6,900	5.3	3,500	2.2	419.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 有
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	8,356,000 株	24年3月期	8,356,000 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	2,812 株	24年3月期	2,812 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	8,353,188 株	24年3月期3Q	8,353,375 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

※金額単位の変更について

当社の四半期連結財務諸表に掲記される科目その他の事項の金額につきましては、従来、千円単位で記載しておりましたが、第1四半期連結会計期間及び第1四半期連結累計期間より百万円単位をもって記載することに変更いたしました。なお、比較を容易にするため、前連結会計年度及び前第3四半期連結累計期間につきましても百万円単位に組替え表示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	5
(3) 継続企業の前提に関する注記	6
(4) セグメント情報等	6
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、世界経済の減速や長引く円高等による企業収益の低迷、消費や投資の下押しが見られ、弱い動きで推移いたしました。

当業界におきましても、個人消費の低迷や不安定な原油価格の動きなど引き続き厳しい状況が続いております。

こうした中、当企業グループの当第3四半期連結累計期間は、営業収益682億65百万円（前年同期比0.5%減）、営業利益53億79百万円（同0.7%増）、経常利益54億70百万円（同2.0%増）、四半期純利益28億32百万円（同1.7%増）となりました。

各セグメント別の営業状況は、次のとおりであります。

#### （物流センター事業）

当第3四半期連結累計期間の営業収益は、331億23百万円（前年同期比1.6%増）、営業利益は、39億93百万円（同4.6%減）となりました。

営業収益におきましては、前年同期比5億23百万円増加いたしました。増加の主な要因といたしましては、不採算荷主との契約解除等があったものの、平成24年4月に取得した連結子会社（株）ジェイビーエスと前連結会計年度までに受託したセンターが順次業績に寄与したことによるものであります。

営業利益におきましては、前年同期比1億94百万円減少いたしました。減少の主な要因といたしましては、新規業務立上コストの発生と、当第3四半期連結会計期間での急激な気温の変化等により、例年になく物量波動に対応するためのコストが発生したことによるものであります。

新規受託の概況におきましては、15社の物流を新たに受託しております。

また稼働状況におきましては、前期受託した2社を含めた17社のうち13社稼働しております。残りの4社におきましては、平成25年1月以降の稼働を目指し準備を進めてまいります。

物流センターの総数は、新規受託による増加と既存荷主の減少及び（株）ジェイビーエスの施設を含め76センターとなりました。

引続き日々収支、全員参加、コミュニケーションを徹底して行い、収支改善に向け取り組んでまいります。

#### （貨物自動車運送事業）

当第3四半期連結累計期間の営業収益は、351億41百万円（前年同期比2.4%減）、営業利益は、13億80百万円（同19.8%増）となりました。

営業収益におきましては、前年同期比8億77百万円減少いたしました。減少の主な要因といたしましては、家電関連の物量減少と、主要な連結子会社であります近物レックス(株)での物量減少によるものであります。

営業利益におきましては、前年同期比2億28百万円増加いたしました。増加の主な要因といたしましては、近物レックス(株)において、平成24年6月に実施した幹線便の見直しによる費用削減（月額約14百万円）と、日々の管理強化により労務費等のコストを圧縮したことによるものであります。

今後の取り組みといたしましては、新規荷主獲得に向けた取組強化と、閑散期でのコスト圧縮を図ってまいります。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### （当第3四半期の状況）

当企業グループの当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比13億83百万円増加し

865億48百万円となりました。これは主に、現金及び預金、受取手形及び売掛金が増加し、流動資産が15億91百万円増加したことと、償却等により固定資産が2億7百万円減少したことによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末比14億16百万円減少し、553億65百万円となりました。これは主に、借入金、未払法人税等が減少したことによるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末比28億円増加し311億82百万円となりました。これは主に、四半期純利益28億32百万円の計上と剰余金の配当による減少3億25百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の28.7%から31.2%へと増加しております。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、デフレ傾向や海外経済の減速等、企業にとっては厳しい状況が継続し、下振れ懸念を抱えて推移することが予想されます。

このような環境の中、顧客の物流費削減のニーズに応えるチャンスとして、当社の主力である物流センター（3PL）事業を中心にコスト削減を提案し、新規受託に向け積極的な営業を進めてまいります。また、既存の物流センターにおきましても、更なる業務効率化を推進してまいります。

当社において重要なキーワードであります、「日々収支」「全員参加」「コミュニケーション」の既存路線を踏襲した上で、更なる高みを目指し、挑戦を続けてまいります。

平成25年3月期の業績見通しといたしましては、連結営業収益910億円（前年同期比1.2%）、連結営業利益69億円（同5.7%増）、連結経常利益は69億円（同5.3%増）、連結当期純利益は35億円（同2.2%増）を見込んでおります。

なお、現時点での業績予想につきましては、平成24年5月10日に公表いたしました通期の連結業績予想から変更はございません。

通期見通しにおける軽油単価につきましては、最近の情勢をもとに計算しております。なお、軽油単価の変動による影響につきましては、1リットル当たりの単価1円の変動により、年間33百万円の影響となります。また借入金の変動による影響につきましては、金利0.1%の変動により年間23百万円の影響となります。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,442	5,223
受取手形及び売掛金	12,072	12,921
商品	3	2
貯蔵品	132	125
その他	1,201	1,172
貸倒引当金	△36	△37
流動資産合計	17,816	19,407
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	23,700	23,059
土地	34,113	34,135
その他(純額)	3,997	3,959
有形固定資産合計	61,810	61,154
無形固定資産	1,981	2,051
投資その他の資産	3,555	3,934
固定資産合計	67,347	67,140
資産合計	85,164	86,548
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,161	6,229
短期借入金	24,708	22,605
未払法人税等	1,515	765
賞与引当金	546	324
役員賞与引当金	46	38
その他	4,590	4,852
流動負債合計	37,570	34,816
固定負債		
長期借入金	9,658	10,984
退職給付引当金	4,915	4,962
役員退職慰労引当金	348	406
その他	4,288	4,195
固定負債合計	19,211	20,549
負債合計	56,782	55,365
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,045	4,045
資本剰余金	3,951	3,951
利益剰余金	16,498	19,005
自己株式	△8	△8
株主資本合計	24,486	26,993
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△12	△12
その他の包括利益累計額合計	△12	△12
少数株主持分	3,908	4,200
純資産合計	28,382	31,182
負債純資産合計	85,164	86,548

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
営業収益	68,619	68,265
営業原価	61,637	61,238
営業総利益	6,981	7,026
販売費及び一般管理費		
貸倒引当金繰入額	7	3
役員報酬	356	329
給料及び手当	394	393
賞与引当金繰入額	25	41
役員賞与引当金繰入額	39	39
退職給付費用	22	22
役員退職慰労引当金繰入額	22	49
その他	768	769
販売費及び一般管理費合計	1,637	1,647
営業利益	5,343	5,379
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	31	25
負ののれん償却額	152	152
助成金収入	40	70
雑収入	186	179
営業外収益合計	412	429
営業外費用		
支払利息	318	282
雑損失	76	56
営業外費用合計	394	338
経常利益	5,361	5,470
特別損失		
投資有価証券評価損	10	2
保険解約損	11	—
災害による損失	10	—
特別損失合計	31	2
税金等調整前四半期純利益	5,329	5,467
法人税、住民税及び事業税	1,915	2,019
法人税等調整額	240	231
法人税等合計	2,156	2,250
少数株主損益調整前四半期純利益	3,173	3,216
少数株主利益	387	383
四半期純利益	2,785	2,832
少数株主利益	387	383
少数株主損益調整前四半期純利益	3,173	3,216
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△13	△0
その他の包括利益合計	△13	△0
四半期包括利益	3,159	3,216
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,771	2,833
少数株主に係る四半期包括利益	387	383

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 及び包括利益計 算書計上額 (注) 2
	物流センター 事業	貨物自動車運送 事業	計		
営業収益					
(1) 外部顧客に 対する営業収益	32,599	36,019	68,619	—	68,619
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	398	1,236	1,634	△1,634	—
計	32,998	37,255	70,254	△1,634	68,619
セグメント利益	4,188	1,152	5,340	3	5,343

(注) 1 調整額は、全てセグメント間取引消去によるものであります。

(注) 2 セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 及び包括利益計 算書計上額 (注) 2
	物流センター 事業	貨物自動車運送 事業	計		
営業収益					
(1) 外部顧客に 対する営業収益	33,123	35,141	68,265	—	68,265
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	479	1,097	1,577	△1,577	—
計	33,602	36,239	69,842	△1,577	68,265
セグメント利益	3,993	1,380	5,374	5	5,379

(注) 1 調整額は、全てセグメント間取引消去によるものであります。

(注) 2 セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。